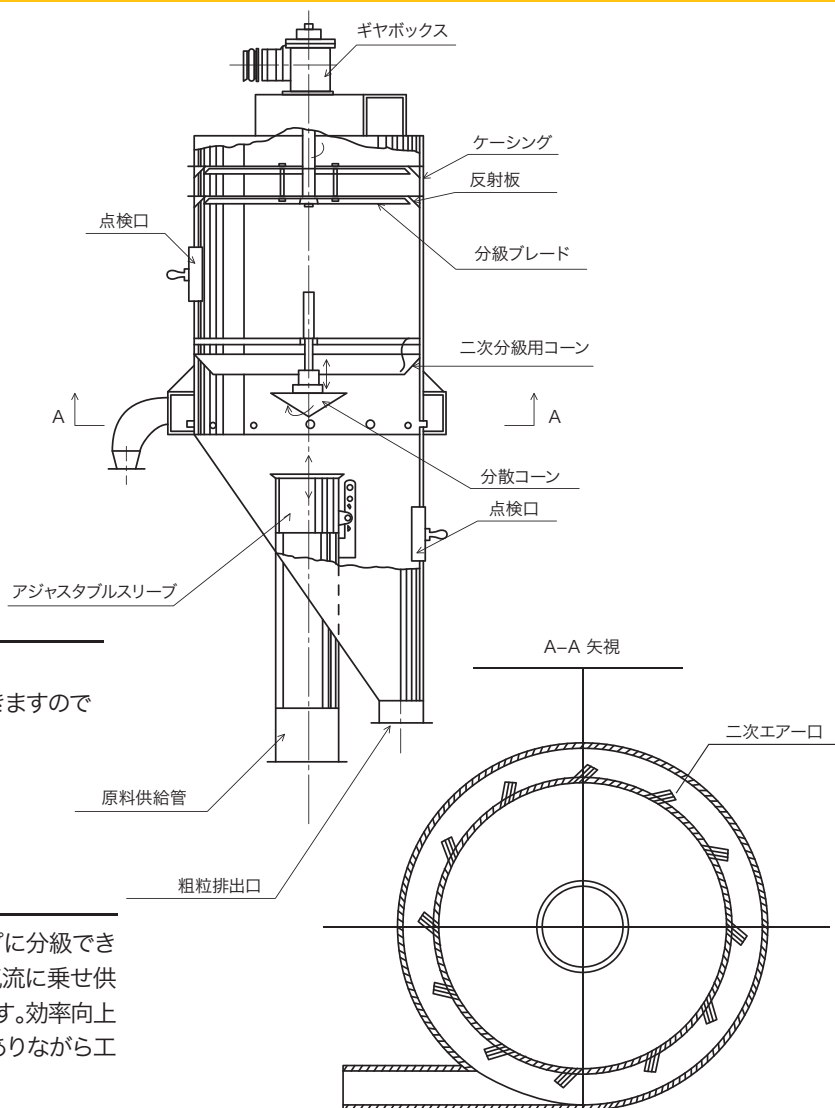


独立型ハイフローセパレータ



■特長

- ◎分級効率が極めて高く、分級レンジが広範囲。
- ◎高能率：小径の分級機本体で大量の処理ができますので設備費も安価ですみます。
- ◎無公害：粉塵の飛散は全くありません。
- ◎分級と同時に乾燥もできるシステム(別注)。
- ◎広範囲の用途。

■機器概要

ハイフローセパレータは微粉を効率よくシャープに分級できる遠心型風力分級機です。原料は下方中心より気流に乗せ供給され、本体内の回転ブレードにより分級されます。効率向上のため、分散コーン、二次エア導入口等、単純でありながら工夫された構造となっています。

・ハイサイドタイプ(分級径300~45 μ m)

形式	ケーシング径	動力(kW)	風量(m ³ /min)	処理能力(t/h)
ASD-650	650	2.2	40~55	0.75
ASD-800	800	3.7	60~85	1.9
ASD-1200	1200	5.5	130~180	5.5
ASD-1300	1300	7.5	150~210	7.5
ASD-1700	1700	11~15	260~360	12
ASD-1900	1900	15~18.5	320~450	15
ASD-2100	2100	22~30	390~550	18
ASD-2400	2400	30~37	510~720	22

※能力は石灰石粉で製品粒度を-45 μ 99%とした場合の推定値です。

・バラタイプ(分級径45~5 μ m)

形式	ケーシング径	動力(kW)	風量(m ³ /min)	処理能力(t/h)
PSD-650	650	2.2~3.7	40~55	0.5
PSD-800	800	3.7~5.5	60~85	0.75
PSD-1200	1200	5.5~7.5	130~180	1.6
PSD-1300	1300	11~15	150~210	1.9
PSD-1700	1700	15~22	260~360	3.3
PSD-1900	1900	22~37	320~450	4
PSD-2100	2100	30~45	390~550	4.9
PSD-2400	2400	37~55	510~720	6.4

※能力は石灰石粉で製品粒度を-10 μ 95%とする場合の推定値です。